

2021年度 第3回鋼材規格三者委員会 議事録

1. 日 時： 2021年12月22日（水）13:30～15:20

2. 場 所： 鉄鋼会館第2会議室+Web会議

3. 出席者：（敬称略）

（委員長）榎 委員長（東京大学教授）

（副委員長）緒形（物質・材料研究機構）、田中 副委員長（東京理科大学名誉教授）、
藤原（EMF応用計測）

（委員）相川（日本水道協会）、伊藤（叡）（ISO TC156国内対応委員会委員長）、
岩田（建築研究所）、小野（日本分析化学会）、加藤（日本金属継手協会）、
熊井（日本検査キューエイ）、栗原（日本伸銅協会）、桑原（東京農工大学）、
後藤（大同特殊鋼）、桜井（日本鋼構造協会）、種物谷（高圧ガス保安協会）、
下津佐（神戸製鋼所）、高木（三菱マテリアル）、竹内（東京工業大学）、田上（IHI）、
堤（日本規格協会）、中澤（JFEスチール）、林（元国立研究開発法人理化学研究所）、
富士原^代藤井（日本試験機工業会）、松本（和）（日本海事協会）、
松本（聡）（日本製鉄）、山口（九州工業大学）

（委員長・副委員長・委員計26名）

（関係者）伊藤（実）（経済産業省）

（関係者計1名）

（幹事）石川（日本鉄鋼連盟）

（事務局）寺澤、阿部、井田、越川、坂橋、楠野、玉田、山本（日本鉄鋼連盟）

（事務局計8名）

4. 議題と配布資料

1) 報告

資料0 2021年度 第1・2回鋼材規格三者委員会議事録

資料1-1 第29回金属・無機材料技術専門委員会議事録（案）

資料1-2 鋼材 JIS の注文時の情報に関する規定について

（口頭説明） 経過報告書の内容審議について

2) 改正 審議

資料2 及びコメント回答 JIS G 3120 圧力容器用調質型マンガンモリブデン鋼及び
マンガンモリブデンニッケル鋼鋼板

資料3 及びコメント回答 JIS G 4401 炭素工具鋼鋼材

資料4 及びコメント回答 JIS G 4403 高速度工具鋼鋼材

資料5 及びコメント回答 JIS G 4404 合金工具鋼鋼材

- | | | |
|----------------|------------|-------------------|
| 資料 6 及びコメント回答 | JIS G 3446 | 機械構造用ステンレス鋼鋼管 |
| 資料 7 及びコメント回答 | JIS G 3447 | ステンレス鋼サニタリー管 |
| 資料 8 及びコメント回答 | JIS G 3448 | 一般配管用ステンレス鋼鋼管 |
| 資料 9 及びコメント回答 | JIS G 3460 | 低温配管用鋼管 |
| 資料 10 及びコメント回答 | JIS Z 2249 | コニカルカップ試験方法 |
| 資料 11 及びコメント回答 | JIS G 0582 | 鋼管の自動超音波探傷検査方法 |
| 資料 12 及びコメント回答 | JIS G 0584 | アーク溶接鋼管の超音波探傷検査方法 |
| 資料 13 及びコメント回答 | JIS G 0320 | 鋼材の溶鋼分析方法 |
- 3) 追補改正 審議
- | | | |
|----------------|------------|--------------------------------------|
| 資料 14 及びコメント回答 | JIS G 0416 | 鋼及び鋼製品－機械試験用供試材及び試験片の採取位置並びに調製（追補 1） |
| 資料 15 及びコメント回答 | JIS G 3101 | 一般構造用圧延鋼材（追補 1） |
| 資料 16 及びコメント回答 | JIS G 3106 | 溶接構造用圧延鋼材（追補 1） |
- 4) 定期見直し計画リストの審議
- | | |
|-------|------------------------|
| 資料 17 | 2022 年度 定期見直し計画リストについて |
|-------|------------------------|
- 5) その他

5. 議事内容及び結果

交代委員の紹介と自己紹介、榎委員長のご挨拶の後、以下の議事が進められた。

5.1 幹事から前回議事録が報告された。

前回議事録は、会議後に既に承認されており、特にコメントはなかった。

5.2 寺澤事務局長から、以下 3 件について報告された。

- 1) 第 29 回の金属・無機材料技術専門委員会
- 2) 鋼材 JIS の注文時の情報に関する規定について
- 3) 経過報告書の内容審議について

既に提出した経過報告書に誤りがあったため、再審議を書面で行うことの説明があった。

5.3 審議案件の改正案 12 件、追補改正案 3 件について鉄鋼連盟の事務局より内容が説明され、以下の質疑応答があった。

- 1) JIS G 4403 に関して、種類の記号の一部廃止は、問題がないか質問され、問題がないことを確認済であると回答された。
- 2) JIS G 3447 に関して、製造方法は新たな規定追加なのか質問され、従来、本文記載していた内容を表中に記載したと回答された。
- 3) JIS G 3460 に関して、水圧代替法と非破壊試験法との箇条分割を進めるのか質問され、その方向であると回答された。

上記の他、原案修正点は、規格ごとのコメントテンプレートに記載されたとおり、修正することとし、いずれも承認された。

5.4 事務局から定期見直し計画リストが説明され、異議なく承認された。

5.5 その他

- 1) 幹事から 2022 年度の鋼材規格三者委員会を今年度と同様に 7 月及び 12 月に開催を計画し、日

程調整することが説明された（会議形態未定）。

- 2) 幹事から、委員委嘱に関して、2022年は、2年ごとの再委嘱時期となるため、事務局から委員各位に確認させていただくことを予告した。

以上